

# 子供のためのサンマー・カーテー・ヂ

彰榮幼稚園東京保姆傳習所長

石 原 君 子  
バチエラード・オヴァ・アーツ

私が常に切に望んで居ります事は、都會の子供達にどうにかして自然に親しみ得るやうにしたい事です。都會に住む子供達は、見るもの聞くもの悉く人工的なもので、電車自動車に絶えずおびやかされて居り、春になつても青々とした、ほんとに野生らしい樹木を見る事も出来ないと云ふ様です。勿論唯

今の文明に對して、子供の時から相當の理解と親しみを思つて育つことは、成長してからの社會生活の上に便利のある事であります、それにしても文明に接觸する機會は段々に大人になるにつれ多くなるものですから、小さい子供達には矢張りひろぐした野趣の中に育てたいと思ひます。米國あたりに置きましたは、私が見た範圍に於ても、大層この點に注意して、都會生活から子供を救ふ爲の色々の社會事業が發達して居ります。富豪の方々はどうしくお金をして、一流の研究家の意見を参考として、

景色のよい田舎に、子供達の遊園を造り、或は寄宿舎を建築して居ります。日本では近頃このやうな考へを懷かれて實行して見ようか等と思つてゐる方も聞きましたが、まだノヽこの種の事業が社會に必要を宣傳されてないのを遺憾に思ひます。

私は歸朝致しました以來、米國あたりの大規模の眞似はとても出来ませんが、どんなに小さくともよいから田舎で都會兒童を毎年靜かに休めたいと思つて居りました。それで私は自分で長野縣の方へ出掛けました。それで私は自分でも長野縣の野尻湖畔を選び五千坪餘の土地を買ひ求めました。この長野縣の野尻湖畔と云ふ所は、一度其處に足をふみ入れたならば、とても忘れる事の出来ない程の美しい土地で、或人はバラダイスの次のやうだとか、或は日本のスキス等とほめて居ります。山に囲まれた湖水の水の青々として美しい事、又その湖水に影をうつしてゐる山々の生き／＼して

あること、此處へ塵と騒音から都會の子供達を救うてつれて來たならば、と喜びを以て私の胸は踊りました。私共が買ひ求めた土地は今申し上げた通り、野尻湖畔の城山と云ふ所で、信州相原驛から約一里の所です。初めこの土地の持主は利にさとくつて中々私共のやうな者に土地をゆづらうとしませんでしたが、色々と目的を語り個人の別荘地にするのではなく、公衆の爲めに使用するのであるからと、種々運動した結果やつと手に入れる事が出来ましたので、大層喜んで居るわけです。この五千坪餘の土地に、米國邊によく見るサンマー・カテーデ風に、軽い洋館の建築物を建てたい積りで居ります。サンマー・カテーデを建てる所は、湖水を見下した山の上にあたつて居りますので、夏等はカテーデの窓から湖水の水がひた／＼と波をよせて岸にうつのを聞く事が出来ませう。サンマー・カテーデは緑色のうすいのや白い色やで、明るく涼しく、簡単な家屋にしたいと思つて居ります。其處に有志の御家庭のお子さん方を、お母様か御姉妹方が御同伴でも結構ですし、またお子様方だけでも御安心なすつて、私共におあづけになつて、一夏を送らせると云ふ事にします。西

洋婦人でよく日本の習慣にも馴れて居られる方を數名お誘ひして、行つて頂くつもりです。これは私がいつも實行したいと思つてゐる語學の趣味をお子様方に養ふ爲です。又持ち運びに便利な樂器類、例へばヴァオリン、マンドリン、ハーモニカ、笛、お琴等の類を携へて、夕方からはサンマー・カテーデに於て家庭音樂會を催します。これも語學の趣味と同じに音樂の趣味を養はせたいからです。語學音樂のやうなものは、幼い子供の時から、勉強と云ふむづかしい形式をとらなくつても、自然にその中にひたつて行きましたらば、その子供の精神の美しさをまし、大きくなつてからは色々實際上の助けとなる事は申すまでもありますまい。知識階級の御家庭で英語、佛語、獨逸語等が、朝夕の食卓で話され殊にお母様方が語學に堪能である場合には、その御家庭のお子様がかたこと交りの中から、色々の言葉を耳にし覚え、大人が苦心して勉強するところを遊びながらに知つてしまふと云ふ事は度々見る事です。それで私共のサンマー・カテーデにも外國婦人方をお招きして、山にのぼれば樹木の名を英語で教へ、野原で花をつめばその花について英語で簡単な説明をすると云ふ風

に致しましたら物真似の上手な何でも早く覚える子達は、きつと一つ二つの言葉は難作もなく言ひ得るやうにならうと思ひます。又音楽についてもさうです。私共の幼稚園に來てゐるお子さんの中に、小さいお嬢さんで、それはそれはピアノが上手な方があります。音楽の先生を御家庭に呼んでお習ひしてゐるのかと思ひましたら、お母様が大層ピアノがお上手で、なぐさみ方々そのお嬢さんに教へられたと云ふのです。腰掛に足もとゞかぬ程の小さいそのお嬢さんが、マーチを彈くと、他の子供達が大層よろこんで手を振りながら、足拍子を高くして、勇みながら遊戯をして出て来ます。これを見ても、音楽がどんなに小さい子供達に好まれ、そして又容易に習ふ事が出来るかわります。サンマー・カテーテに於ては、家庭音樂會を盛に催して、子供達もお母さん方も入り交つて、山間の夏の夕べを楽しむつもりで居ります。又この野尻湖畔は村の人々が益踊を盛にする所ださうで、その益踊の研究等にも力を盡して、もし子供達に適用するやうに改良が出来たら、そんな事もさせて見たら、都會の子供にはきつと田舎の趣味がわかつて、興味多い事と思ひます。

私共がサンマー・カテーテで都會の兒童に田園趣味を養ふのは、都會兒童の利益ばかりでなく、田舎の子供達を、又其の村の人々を教育し、文化に導く事

にもなる事と思ひます。その爲めに、鎌倉あたりの土地を選ばずに、信州の山奥へと目ざしてまゐりましたのです。鎌倉邊はもう別荘地になりきつてしまつて、田舎のほんとの味ひと云ふものもなく、都會の風があまりに入りこんでゐます。信州の野尻湖の近所は未だ／＼原始的なおもかげがありますから、其處ならば都會の兒童にわからない生活があり、又田舎の兒童が知らない事を、都會の兒童から學ぶ事が出来ようと思ひます。自動車が毎日門前をめまぐる走つてゐる様な、繪本で見てゐるやうな空ゆく何層かの建物が實際ある事。都會の幼稚園では今頃何の遊戯をしてゐるか等と云ふ事を田舎の子供達に話して聞かせ、又田舎の子供達はどうしておたまじやくしが蛙に成長するか、どうしてお米が出来るか等と云ふ事を話して聞かせるでせう。違つた生活をしてゐる二人の子が互に話し合ふ事はどんなに樂しく、又爲になる事かわりません。子供時代の生活に變化を與へ、美しい夢を幾つもこしらへさせたと云ふ事だけでも尊ひ事ではありませんか。

只今野尻湖畔は未だ春が訪れず、厚い／＼冰をわかつて、その穴の中からお魚を取りに、村の人々が釣しに行つて居ります。それで建物を建てる準備には未だ時節が早うございますから、春がぼか／＼と信州の山々に訪れる頃、私はもう一度参つていよ／＼準備に取りかかるつもりで居ります。